

第41回国際生物学賞受賞記念シンポジウム・講演会

神経生物学におけるブレイクスルー

他者の行動や感情を鏡のように映し出すミラーニューロンの発見

シンポジウム（研究者向け、英語）

受賞者講演会（一般向け、日英同時通訳）

東京大学伊藤国際学術研究センター
地下2階伊藤謝恩ホール

2025

12/20 土

10:00 ~ 17:30

2025

12/21 日

10:00 ~ 11:30

参加費
無 料
事前登録必要

Commemorative Symposium for the 41st International Prize for Biology Current Breakthrough Topics in Neurobiology

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている上皇陛下の長年にわたる魚類分類学の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を目的とした賞です。本賞は昭和60年に創設され、以毎年1回、生物学の授賞分野を選定の上、当該分野の研究において優れた業績を挙げ、世界の学術の進歩に大きな貢献をした研究者を選考して授賞しています。

第41回国際生物学賞の受賞対象分野に「神経生物学」が選定され、審査委員会による選考の結果、ミラーニューロンの発見により行動を含む様々なレベルでの他者理解の神経基盤を解明し、その後の社会神経科学領域の発展に大きく貢献、認知神経科学全体に多大なインパクトを与えたバルマ大学（イタリア）のジャコモ・リッツォラッティ教授が受賞者として選ばれました。本シンポジウム・講演会はこの受賞を記念し、2日間にわたって東京大学で開催されます。1日目の12月20日（土）には受賞者の研究分野も含めた最先端の神経生物学分野において顕著な研究成果をあげている著名な研究者を国内外から招聘し、高度な議論を行う国際シンポジウムを、2日目の12月21日（日）には受賞者の研究内容を青少年を含む幅広い年齢層の市民の皆様を紹介するため、日英同時通訳を入れた受賞者講演会を開催します。

■主催：国立大学法人東京大学・独立行政法人日本学術振興会

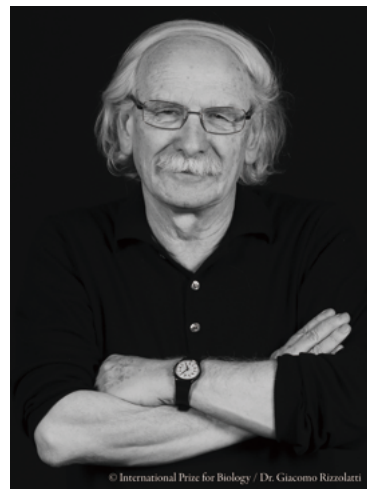
■後援：国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ムーンショット型研究開発事業



UTokyo



JSPS



© International Prize for Biology / Dr. Giacomo Rizzolatti

お問い合わせ

第41回国際生物学賞記念シンポジウム・講演会 事務局

E-mail ipb2025@mp-company.co.jp <https://cbt-neurobiology.com/>



第41回 国際生物学賞受賞
バルマ大学 ジャコモ・リッツォラッティ教授

12月20日(土) 開場9:30 研究者向けシンポジウム(英語)

Program for Dec. 20th Sat.
Symposium for researchers (English)
Doors open at 9:30

10:00-12:20 140 min.

- 10:00-10:10 Opening remarks by Yoshitaka Oka (Univ. Tokyo)
- 10:10-10:50 Giacomo Rizzolatti (Univ. Parma), 41st IPB recipient,
The double life of the motor and emotional systems
- 10:50-11:20 Kaoru Inokuchi (Univ. Toyama), The idling brain function in subconscious
- 11:20-11:50 Haruo Kasai (Univ. Tokyo), Rapid associative learning by mechanical synaptic transmission
- 11:50-12:20 Yasunori Hayashi (Kyoto Univ.), Offline neuronal plasticity during sleep and memory consolidation
- 12:20-13:20 Lunch Break

13:20-15:00 100 min.

- 13:20-14:00 György Buzsáki (New York Univ.), How do we remember?
Hippocampal mechanisms of memory selection and consolidation
- 14:00-14:30 Kazushige Touhara (Univ. Tokyo), Chemosensory signals for sexual and social behavior
- 14:30-15:00 Yoko Yazaki-Sugiyama (OIST), Learning to sing by listening: neuronal mechanism for developmental song leaning in zebra finches
- 15:00-15:40 coffee break

15:40-17:20 100 min.

- 15:40-16:20 Linda Richards (Washington Univ.), Development of interhemispheric connectivity and function
- 16:20-16:50 Masashi Yanagisawa (Univ. Tsukuba), Deciphering the mysteries of sleep: toward the molecular substrate for “sleepiness”
- 16:50-17:20 Yu Hayashi (Univ. Tokyo), Unraveling the mechanisms and functions of REM sleep

12月21日(日) 開場9:30 受賞者講演 一般向け(英語:日本語同時通訳)

Program for Dec. 21st Sun.
Doors open at 9:30

- 10:00-10:15 開会挨拶(東京大学・岡良隆)、受賞者紹介(京都大学&生理研・伊佐正)
Opening remarks by Yoshitaka Oka (Univ. Tokyo), and Introduction of the 41st IPB recipient, Dr. Giacomo Rizzolatti (Univ. Parma) by Tadashi Isa (Kyoto Univ. & NIPS)
- 10:15-11:15 受賞者講演(60分) 司会 伊佐正、同時通訳付
第41回国際生物学賞受賞者 リッツォラッティ教授
「他者理解はいかにして生まれるのか: 脳のミラーメカニズム」
Lecture by the 41st IPB recipient, Dr. Giacomo Rizzolatti
How we understand others: The mirror mechanism
- 11:15-11:30 質疑応答
Discussion

伊藤謝恩ホール 東京大学 伊藤国際学術研究センター地下2階



- 本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)より徒歩8分
- 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)より徒歩6分
- 湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線)より徒歩15分
- 御茶ノ水駅(JR中央線、総武線)
地下鉄 丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
都バス 茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行 — 東大(赤門前バス停)下車
学バス 学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
- 御徒町駅(JR山手線等)
都バス 都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
- 上野駅(JR山手線等)
学バス 学01東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
- 専用の駐車場はありません。お車でのご来場はお断りしています。

留意事項

- 講演内容を許可なく録画・録音し、二次使用することを禁じます。
- 本シンポジウム・講演会は、ご登録者のみの参加とし、いかなる場合もライブ配信用のURL・パスワードを第三者に教えることを禁じます。
- ライブ配信については、参加者から講演に関する質問を受け付けません。また、個々の機器、回線により不具合が出た場合、主催者は保証などをしませんのであらかじめご了承ください。
- 広報のため、本シンポジウム・講演会の写真や映像を使用する可能性があることをあらかじめご了承ください。
- 本シンポジウム・講演会後に、アンケートメールを送付いたしますので、ご協力をお願いします。